コロナ禍で考えていること

天から「どうするんだ」と言われている
生きているということを軽視ししている
持続可能・・・原爆、原子力どうするの
私たちがどうやって生きていくのか
自分をもっと大切にする、それを表わす
笑顔でいられる、囲まれて過ごす
何が欠けているか
あいさつからスタートして、待っている
なぜ「ありがとう」がなくなったのだろう
「すみません」になってしまう
「ありがとう」悪い気がしない
人を大事にする教育が欠けていた
名簿を出せない　同窓会の発会式　中学生から
辞めた先生もつながっている
「助けて」と言えないとまずい

コロナ禍のなかで考えていること

エレベーターでたむろしている
大きな看板を挙げてしまうと、
「弱者を守りましょう」、ここまでが弱者と決めるほうがおかしい
かっこいいこと、きれいごと、すばらしいことを訴える人は、どこかで
インタビューしてくれる人が大切　本音を引き出して
マスコミは求めているものがあって、それに
学生「私をダメにしたのは、父親」
「（バブルで）やりたいことをやって」

福祉という名のもとに

① 今は生きているということが軽視されている。

② 「ありがとう」がなくなった。「すみません」になってしまう。

③ 人を大事にする教育が欠けている。

④ 「助けて」と言えないとまずい。

「コロナ禍のなかで考えていること」のポイント